

## 英国独立学派の講読セミナーPart VII

1980年代前後の文献から 一主体の発生と確立一

**本セミナーのご案内：**1940年代の英国において、学派・理論の相違に始まる現代フロイト学派とクライン派の間に起きた大論争は、独立学派（中間学派）を産み落とした。それは i) 党派性にとらわれないという、自由・独立を旨とした分析家の立ち位置とともに、ii) S. フロイトの時代に遡ってフェレンツィ、M. バリント、フェアバーンらを出発点として D. W. ウィニコット以降、幅広い精神分析理論を束ねる「学派」を形成して現代に至っている。初年度は独立学派の対象関係、創造性、早期の情緒発達、セクシュアリティ、技法論といったトピックに関連した主要論文を、開講2年度はレイナーによるテキストを手がかりに、体系的な理解を目指した。3年度はウィニコットを取り上げ、『ウィニコット用語辞典』を手掛かりに主要論文を読んだ。4年目のボラスを経て5年目から T. オグデンを中心に多層的な理解を深めている。7年目は引き続きオグデンをもとに、主体の発生と確立の理解を目して同時代の主要文献を読んでいきたい。

各回文献を配布し、予め割り振った担当者がテキストのレジюмеを作成しそのプレゼンテーションと他の参加者のそれぞれの文献に関する質問を中心にセミナーリーダーが全体の理解をファシリテートする。

**対 象：** フロイト理論の系統講義（基礎講座、精神分析セミナー）・講読セミナーの受講経験が有る専門家

**日 程：** 5月から原則第4日曜日、全10回  
午前10時30分から午後1時まで

**場 所：** クリニックおくでら（小田急線小田原線 経堂駅 徒歩5分）

**セミナーリーダー：** 奥寺 崇

**受講料：** 40,000円

**定 員：** 15名程度を考えています。ハイブリッドにより会場参加は最大10名。

**参照論文・文献：** その都度次回分までを指定し配布する。

**申込方法：** 下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/gfo5unESpSw618eb6>



**申込期間：** 2025年3月25日（火）～5月11日（日）

**問合せ先：** 小寺記念精神分析研究財団 事務局 [kodera.fps@gmail.com](mailto:kodera.fps@gmail.com)

主催：小寺記念精神分析研究財団